



ドングリキンカクキン(子囊菌)



ワスレナグモ(クモ類)



オンドリ(鳥類)



タヌキ(哺乳類)



アオダイショウ(爬虫類)



コオオヘソマイマイ類の一種(陸産貝類)



タシロラン(種子植物)



トサノゼニゴケ(苔類)



ホソエノヌカホコリ(変形菌)



ウラナミアカシジミ(昆虫類)



日本学術会議公開シンポジウム

明治神宮の森

これまでと これからの100年

～鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査から～

明治神宮の杜造成100年を迎えるにあたり、自然環境総合調査を実施し、大きな発見があった。「永遠の杜づくり」を目指した杜は現在、どうなっているのか。これから100年は、どうなっていくのか——調査結果を公表し、未来に向けた各分野の叢智を結集する。

平成25年 **12月12日[木]** 13:00～17:00

場所

日本学術会議講堂

東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口

入場無料



南参道口鳥居
(左)大正9年11月創建当時、(右)現在



御造営にあたって、全国青年団の勤労奉仕によって約10万本の苗木が植樹された

主催／日本学術会議環境学委員会

共催／第二次明治神宮境内総合調査委員会



ドングリキンカクキン(子囊菌)
ブナ科の実に発生するキノコ。ドングリ、キノコ、昆虫の三者が関わっている



ホソエノヌカホコリ(変形菌)
写真は未熟な子実体。腐木の上などに群生するが、一つの子実体は高さ約2mm



トサノゼニゴケ(苔類)
晩春、ユニークな形の雄器床(生殖器官)を葉状体につける。雄雌の性別がある



オシドリ(鳥類)
冬季、北池で多く見られる。一時姿を消したが、最近になって復活した



タシロン(種子植物)
葉緑素を持たない腐生ランで、ナヨタケ科のキノコと共生するといわれている



アオダイショウ(爬虫類)
人家の周辺に多い。大きくなるヘビで、ネズミや小鳥類などを食べている



タヌキ(哺乳類)
明治神宮の森に複数の家族が住んでいる。参拝者に出会っても驚く様子がない

日本学術会議公開シンポジウム

明治神宮の森

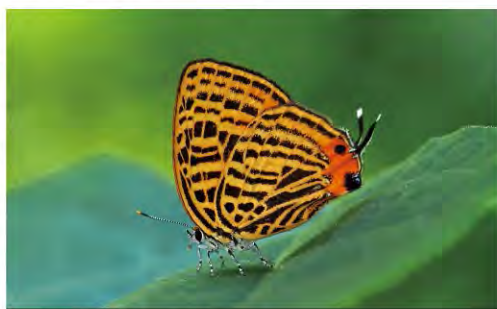
これまでとこれからの100年

～鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査から～
日本人の叡智によってつくられた70万平方メートルの鎮守の杜は、都会にぽっかりと浮かぶ緑の島となった。この杜では、世界最大規模・時間的長さを誇る毎木調査、国内で最も古くから鳥類調査記録がされてきた。そして今回、昆虫など加えて生物の全体像を科学的につかもうと試みた。その結果は——
調査の中で明らかになったいのちの営みは映像に収められ、このシンポジウムで初公開される。

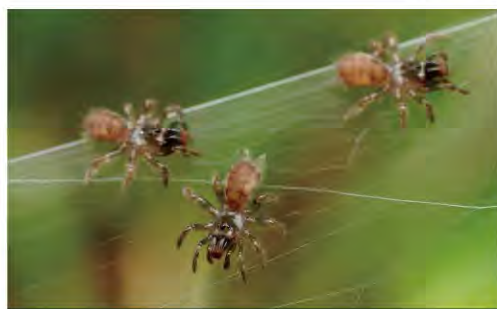
写真:佐藤良彦



コオオバソマイマイ類の一種(陸産貝類)
皇居と明治神宮でのみ棲息が確認されているカタツムリ。まだ正式な名前がない(新種)



ウラナミアカシジミ(昆虫類)
都区部ではほぼ絶滅したとされていたが、明治神宮には多産。梅雨の晴れ間に撮影



ワスレナグモ(クモ類)
地中の巣から出て団居(まどい)をする幼虫。普段は地中生活をするため発見しにくい



大西 隆 石川 幹子 中島精太郎 進士五十八 新里 達也 伊藤弥寿彦 濱野 周泰 奥富 清 中池 敏之 萩原 博光 柳澤 紀夫 小野 展嗣 青木 淳一 養老 孟司 森島 昭夫 鷺谷いづみ

12月12日(木) [タイムスケジュール]	
13:00	開会の辞 石川 幹子 / 日本学術会議環境学委員会委員長 中央大学教授 会長挨拶 大西 隆 / 日本学術会議会長、東京大学名誉教授 鎮座百年の明治神宮 中島精太郎 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会委員長 明治神宮宮司 人のつくった森の科学と技術 進士五十八 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会座長 東京農業大学名誉教授
13:30	新発見データの発表—第二次総合調査から— 新里 達也 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会主査 環境指標生物代表
13:45	〈映像〉—生命を育む神宮の杜— 伊藤弥寿彦 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会委員 トレジャー・パブリッシング 映像プロデューサー
14:10	第二次総合調査各班報告—神宮の自然特性— 樹木 濱野 周泰 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会主査 東京農業大学教授 鳥類 柳澤 紀夫 / 日本鳥類保護連盟理事 植生 奥富 清 / 東京農工大学名誉教授 クモ類 小野 展嗣 / 国立科学博物館研究主幹 シダ植物 中池 敏之 / 東洋英和女学院大学非常勤講師 土壌動物 青木 淳一 / 横浜国立大学名誉教授 変形菌 萩原 博光 / 国立科学博物館名誉研究員
15:40	〈パネルディスカッション〉—これからの森・自然環境の持続可能性に向けて— コーディネーター 進士五十八 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会座長 東京農業大学名誉教授 パネリスト 石川 幹子 / 中央大学教授 パネリスト 養老 孟司 / 東京大学名誉教授 鷺谷いづみ / 東京大学大学院教授 パネリスト 森島 昭夫 / 日本環境協会前理事長 中島精太郎 / 明治神宮宮司
『鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査報告書』 明治神宮の杜と生物に関わる40余の学術論文を掲載。 編集:鎮座百年記念第二次明治神宮境内総合調査委員会 体数:A4判 上製本・箱入り カラー印刷 510頁 価格:14,500円(税別) 申込先:昆虫文庫・六本脚 E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp Tel.03-6825-1164 Fax.03-5213-1600	

お問合せ／鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査事務局 (Tel.03-3379-5511)